

I 出題の趣旨

- ① 国際化が進展する社会における諸問題に目を向け、課題を見つけ出すことができるかをみる。その際、今までに学習してきた知識を用いて、探究活動につなぐことができるかをみる。
- ② 外国人とともに生きる社会における障壁の一例として、「公共サイン」を取り上げ、その目的と留意点とを適切に理解することができるかをみる。その際、論理的に考え、表現する力をみる。
- ③ 与えられたデータや、英文による情報を読み取り、今まで学習してきた知識と結びつけ、課題解決できる能力をみる。

II 評価の観点

- 問1 データとして利用できる数値の特性を理解し、平均値・中央値・最頻値のそれぞれについて、正しく答えることができるか。
- 問2
- ・与えられたエピソードや表の情報を読み取り、それらから適切な根拠を選び、図Aの問題点を指摘することができるか。
 - ・図Aの問題点について、論理的に表現することができるか。
- 問3
- ・与えられたエピソードや表の情報を読み取り、それらから適切な根拠を選び、図Cの優れた点を見いだすことができるか。
 - ・図Cの優れた点について、論理的に表現することができるか。
- 問4
- ・与えられたエピソードや表の情報を読み取り、それらから適切な根拠を選び、図Cの改善案を提示することができるか。
 - ・図Cの改善案を2点提示することができるか。
 - ・図Cの改善案について論理的に表現することができるか。
- 問5
- ・今までに学習した知識や、問1～問4で考えたこと、個人の経験などを用いながら、外国人とともに生きる社会において気をつけるべきことを提示することができるか。
 - ・適切な文字数で、自己の考えを論理的に表現することができるか。

III 解答例

- 問1 平均値 5.4回 中央値 2回 最頻値 1回
- 問2 英文は犯罪者への警告で日本語文は被害者への注意なので、エピソード2で自国民が警告されたと感じたように、英語使用者が犯罪者扱いされていると感じる可能性があること。(80字)
- 問3 エピソード1のように、日本語による余分な説明が外国人を混乱させてしまうことがあるので、避難のために重要でない説明を省き、最も重要なものだけに絞っていること。(78字)

- 問4 表2・表3によれば、在住外国人も訪日外国人も中国人が最も多いので、中国語の表記を加える。また、表2・表3から中国人以外にも多様な国の外国人がいることがわかるので、使用言語にかかわらず理解できるピクトグラムを大きく配置する。(111字)
- 問5 私たちは、道路標識などにローマ字の表記をつけた方が外国人にとって便利なはずだと当たり前のように考えがちだ。表7からわかるように、ローマ字がないよりはあった方が良いが、表5からわかるようにローマ字よりも平仮名を読める外国人の方が多いとすると、平仮名を使った方が多くの外国人に伝わる場合もある。このように、思い込みではなく確実な情報に基づいて、外国人にとっても暮らしやすい社会を考えることが大切である。(199字)